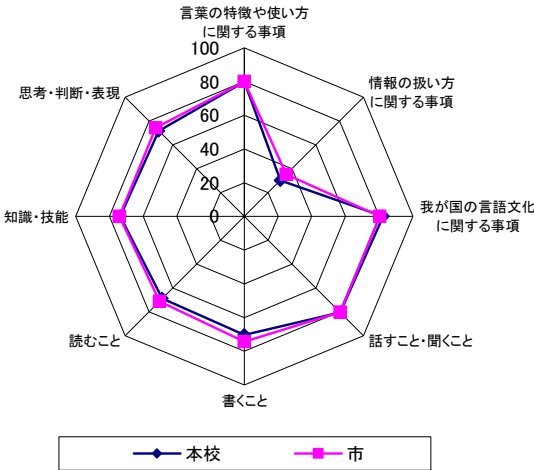


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	79.9	80.0	76.5
	情報の扱い方に関する事項	30.2	35.2	29.3
	我が国の言語文化に関する事項	82.4	80.4	63.1
	話すこと・聞くこと	80.4	80.4	77.7
	書くこと	70.3	74.3	62.9
	読むこと	68.9	71.2	65.8
観点別	知識・技能	73.6	74.1	68.4
	思考・判断・表現	71.8	74.3	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○漢字を読む問題及び漢字を書く問題は、市の平均とほぼ同じ正答率である。 ●敬語についての理解は、市の平均より2.1ポイント低い。 ●用言の活用、対義語についての理解は、市の平均より1.5～2.8ポイント低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・年間を通して漢字の小テストを行うことで、読みだけでなく書き取りの力の定着を図る。 ・文法や敬語について、定着していない内容を復習する時間を設け、確実に理解できるよう指導する。 ・類義語、対義語など言語に関する知識の定着のため、便覧を活用し、さまざまな言葉について興味を持たせる。
情報の扱い方に関する事項	●情報と情報との関係について理解し、論理の展開をとらえる問題では、市の平均より5.1ポイント低い。 ●情報と情報との関係について理解し、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるよう工夫しているかを書く問題では、市の平均より4.9ポイント低い。	・集めた情報を整理したり、編集したりする学習を通して、情報を適切に取り扱ったり、情報を適切に読み取ったりする力をつけさせる。
我が国の言語文化に関する事項	○歴史的仮名遣いについての理解に関する問題では、市の平均を4.9ポイント上回っている。 ○現代語訳を手掛かりに古典を読んでいるかを問う問題では、市の平均とほぼ同じ正答率である。	・繰り返し音読することにより、古典の独特のリズムに慣れさせる。 ・昔の人たちの、現代人と変わらない感覚に気づかせ、知識重視にならないよう興味を持たせる。
話すこと・聞くこと	○自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話しているかを捉える問題や、進行の仕方を工夫して話し合っているかを捉える問題では、正答率が市の平均を上回っている。 ●話の展開を予測しながら聞く問題では、市の平均より3.0ポイント低い。	・授業の中で、メモをとりながら正確に聞く活動を取り入れ、聞き取った内容を確認することで、聞く力をつけさせる。 ・1対1での意見交換や、グループでの話し合い活動を行う。
書くこと	●与えられた条件をもとに文章を書く問題では、それぞれの問いで市の平均を1.1～4.2ポイント低い。	・授業で自分の考えを書く時間を設ける。その際、根拠を明確にした論理的な意見にまとめられるよう指導する。 ・スタンダードダイアリーをはじめ、授業のみならず様々な場面で「書く」機会を設け、意見や考えをすぐに書ける習慣をつけさせる。 ・資料の読み取り方の指導や、そこからどんな意見が考えられるか検討する時間を設け、条件に合った作文が書けるようにする。
読むこと	○論理の展開の仕方を捉える問題では市の平均とほぼ同じ正答率である。 ○登場人物の心情を捉える問題では、市の平均を1.9ポイント上回っている。 ●文章の構成について評価する問題では市の平均より5.1ポイント低い。 ●文学的作品を読み取る問題では、市の平均より1.4～5.5ポイント低い。	・説明的文章の教材を通して、文章の展開を捉えたうえで、要旨をまとめる時間を設ける。 ・説明的文章の内容理解にあたり、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取れるよう指導する。 ・文学作品を通して、場面ごとに情景描写や表現の特徴を捉えることで、登場人物の心情や行動の背景を読み取る力を付けさせる。